

簡易取扱説明書 日本無線株式会社

このたびは Alertmarker BoX をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

ディスプレイへの情報混合表示装置 Alertmarker BoX

- ・JCL-10AMA / JCL-10AMA-2 (外部アンテナ接続タイプ)
- ・JCL-10AMB / JCL-10AMB-2 (アンテナ内蔵タイプ)



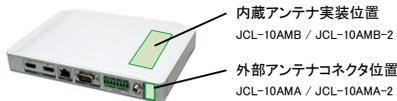
1. 製品の特長

- ・受信した情報を既設ディスプレイへ自動連携表示する装置です。
- ・本来の表示目的を妨げずに緊急速報・防災関連情報などを混合表示します。
- ・ディスプレイのHDMIイン、Alertmarker BoXを追加実装することで機能します。
- ・受信した緊急速報「エリアメール」の自動表示、Webからの戸別選択配信の表示が可能です。

2. 必ずお読みください

・Alertmarker BoX (以下BoX)は、LTE方式の無線を使用しています。そのため、地下・建物の中などで電波の届かない所、電波の届きづらい所、LTEサービスエリア外ではご使用できません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用できない場合があります。

・BoXはタイプによりLTEアンテナもしくはアンテナ位置が異なります。



・アンテナ内蔵タイプでは、天面カバー内にアンテナを実装しております。BoXの上または近くに他の電子機器を重ねて設置しないでください。内蔵アンテナの電波受信低下によりご使用できないことがあります。

・ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなることがあります。

・BoX設置工事の際、建造物の破損、高所や足場の悪い場所での作業に伴う製品の落下やけがをしたことによる損害、またその他のどのような場合においても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。なお、高所や足場の悪い場所に取り付ける必要がある場合は危険が伴いますので、必ず専門業者にご相談ください。

・当社の責によらない、第三者の知的財産権、その他の権利に関わる問題が発生した場合は、当社はその保証を行うものではありません。また、当社の知的財産権の実施権を許諾するものではありません。

・本製品のマーク説明

	警告	この表示は警告を促す内容があることを告げるものです。この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示は注意を促す内容があることを告げるものです。この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
		これらの記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		これらの記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合はACプラグをコンセントから抜けが描かれています)。

3. お使いになる際のお願い

警告 安全にお使いいただくために必ずお守りください

	BoXを分解・改造しないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。
	開口部に金属などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。
	BoXの上や近くに水などの液体が入った容器または小さな金属物などの導電性異物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障のおそれがあります。
	水、油、薬品などがかかるおそれのある場所、火気のある場所、腐食性ガス等の生じる環境では設置または使用しないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。
	ACコードが傷んだ場合(心線の露出、断線、被覆の破れなど)は、お買い求め先に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。
	当社以外による内部の点検・修理は絶対に行わないでください。専門整備員以外による点検・修理は火災・感電のおそれがあります。内部の点検・修理はお買い求め先へご依頼ください。
	万一、煙が出ている、臭がする、常に熱いなどの異常に気がついたときは、直ちにBoXのACプラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求め先にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障のおそれがあります。
	万一、内部に水や金属等の異物が入った場合は、まずBoXのACプラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求め先にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障のおそれがあります。
	万一、BoXを落としたり、破損した場合は、BoXのACプラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求め先へご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障のおそれがあります。
	故障のときはBoXのACプラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求め先にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。

注意 安全にお使いいただくために必ずお守りください

	ACコードを熱器具に近づけないでください。ACコードの被覆がとけて、火災・感電のおそれがあります。
	むやみにBoXのカバーを開け、内部部品や調整箇所に触れないでください。感電・故障のおそれがあります。
	BoXを移動させる場合は、必ずACコード、HDMIケーブルほかBoXに接続しているケーブル類をすべて外してから行ってください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	BoXを寒いところから急に暖かいところに移動させた際、BoX内部に水滴がつくことがあります(結露)ので、BoXを1~2時間放置してからACプラグを差し込んで使用してください。結露したままBoXを使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。
	BoXを水に入れたり濡らしたりしないでください。水滴が付いたら乾いた布で拭いてください。そのまま使用すると感電・故障のおそれがあります。
	BoXを寒いところから急に暖かいところに移動させた際、製品内部に水滴がつくことがあります(結露)ので、BoXを1~2時間放置してからACプラグを差し込んで使用してください。
	お手入れの際は、安全のためにACプラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電・故障のおそれがあります。
	表面を清掃するときは、シンナーやメタリックなどの有機溶剤を使用しないでください。表面の塗装を痛めるおそれがあります。表面の清掃は、ちり、ごみを取り除き、清潔な布で乾拭きするようにしてください。
	長期間使用しないときは、安全のためACプラグを外してください。火災のおそれがあります。

4. 機器構成

- (1) 同梱品
BoXは、以下に示すもので構成されます。ご購入後、下記構成中に欠品がないことをご確認ください。欠品がありましたら、お買い求め先までご連絡ください。

No.	品名	数量	備考
1	Alertmarker BoX	1	HDMIケーブルは含まれておりません
2	ACアダプタ(ACコード付)	1	
3	デジタル/0ケーブル	1	表示灯接続用
4	UIMカード(SIMカード)	1	BoX内に同梱(※)
5	簡易取扱説明書(本書)	1	

※BoXの利用に際しては、別途「Alertmarker+サービス(以下「本サービス」)使用申込」が必要です。
※本サービス申込後、ACアダプタと接続し、コンセントに差し込むと、BoXが自動起動し、BoX起動後(電源ON)1分程すると、前面のLTE LEDが[緑]点灯になることでUIMカードの契約が確認できます。LTE LEDの点灯状況は、LED点灯状況を参照してください。

- (2) 別途ご用意いただくもの
用意いただくものおよび注意点は以下の通りとなります。

- ①HDMIケーブル
STB(セットボックス)~BoX間もしくはBoX~ディスプレイ間接続に使用。BoX追加によりHDMIケーブルが追加が必要となります。

注意
HDMIケーブルは、10m以下のHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
HDMIケーブルは、フェライトコアのあるケーブルもしくはフェライトコアを取り付けて使用してください。
(推奨品)ELECOM DH-HD14ERBKシリーズ(2m)

- ②映像配信装置(セットボックス、STB)
ディスプレイにコンテンツを配信する装置。

注意
BoXへの入力解像度は1920x1080以外であると、本線映像が正常に出力されません。できるだけ使用をお控えください

- ③ディスプレイ

注意
出力解像度は1920x1080以外であると、本線映像が正常に出力されません。使用をお控えください
一部のモニタについては、映像出力装置の信号が出力されないことがあります。

- ④外部アンテナ(JCL-10AMA/JCL-10AMA-2利用のみ)

注意
アンテナおよびアンテナケーブルは必ず弊社指定品を使用してください。弊社指定品以外でのアンテナおよびケーブルの使用は法律上、禁じられております。

- ⑤デジタル/0ケーブル(接点ケーブル)

注意
接点コネクタを使用する場合は、シールドかつアースを施したケーブルに、フェライトコアを取り付けて使用してください。

5. Alertmarker BoX 各部の名称と機能



- ① LINE OUTコネクタ : 緊急速報「エリアメール」の音声出力用
② 電源ボタン : BoXの電源ON/OFF
③ リセットボタン : BoXの再起動時に利用
④ LED : BoXの状態を表示
LEDの詳細は[LED点灯状況]を参照
⑤ DPコネクタ、USBコネクタ : メンテナンス用(使用しないでください)



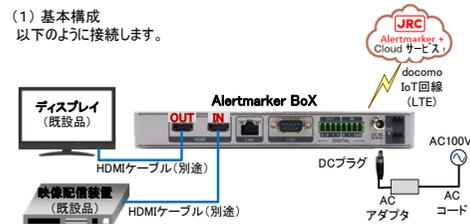
- ⑥ HDMIコネクタ : 映像配信装置(HDMI IN)およびディスプレイ接続(HDMI OUT)用
⑦ LANコネクタ : 表示灯接続用
⑧ COMコネクタ : メンテナンス用(使用しないでください)
⑨ 接点コネクタ : 表示灯接続用
⑩ DC電源コネクタ : ACアダプタと接続
⑪ 外部アンテナコネクタ(※) : 外部アンテナ接続用
※外部アンテナ接続タイプのみ

・前面LED点灯状況

名称	点灯色	状態
PWR	[消灯]	BoXがコンセントに接続されていない HDMI信号をパススルーしません BoXがスタンバイ(ACプラグ接続あり)
	赤	HDMI信号をパススルーしません
ANT	緑	BoXが稼働中
	赤	docomo IoT回線(LTE)の電波レベル:圏外
LTE	オレンジ	docomo IoT回線(LTE)の電波レベル:1~2
	緑	docomo IoT回線(LTE)の電波レベル:3
HDMI	[消灯]	docomo IoT回線(LTE)の状態:待機/停止
	緑	docomo IoT回線(LTE)の状態:接続中
HDMI	赤	HDMI IN/HDMI OUTいずれかまたは両方のケーブル接続がはずれている
	緑	HDMIケーブルが両方正常に接続され、映像が配信されている

6. 設置方法及び設置上の注意

- (1) 基本構成
以下のように接続します。



(2) 設置環境

BoXは屋内専用です。NTT docomoLTE回線(LTE)の電波が届く場所において以下に注意して設置場所を選定してください。

⚠ 注意

以下場所に設置しないでください。

・NTT docomo LTE回線の電波が届かない場所／LTE電波を遮蔽する場所(金属でシールドされている空間、もしくはその近く、ラック筐体などへの収容、屋内基地局(IMGS)のない地下または半地下)

・密閉筐体など空気の流れがない場所

・BoXの上部に一定距離以上(38cm以上)を推奨)遮るものがない環境

(JCL-10AMB/JCL-10AMB-2のみ。電波送受信の妨げとなります。)

・隣接位置に他の電子機器がある場所

・電子レンジ、インバータ等:2m程度以上を推奨

・パソコン等:1.5m程度以上を推奨

・BoX仕様範囲外(直射日光の当たる場所、熱器具の近く)

動作温度範囲: 0～40℃、動作湿度範囲:20～90%

・振動、衝撃の多い場所

・不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)

・ほこりの多い場所

・水、油、薬品などがかかるおそれのある場所

・火気のある場所

・腐食性ガス等の生じる環境

・毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上

※各条件について、設置する部屋が満たしていても設置場所(棚等)において該当しない場合がございますのでご注意ください。

(3) 設置

以下に注意して設置してください。

① 商用電源

電源は、AC100Vを使用してください。

アース付きコンセントを使用し、ACコードのアースを確実にとってください。

⚠ 注意

以下は使用しないでください。

・タコ足配線したコンセント

・AC100V以外の電源(ACケーブルはAC100V専用です。)

② 配線、各ケーブル接続

・ACアダプタは、先にDCプラグをBoXに接続してから、ACプラグをコンセントに確実に差し込んでください。
・映像配信装置～BoX間およびBoX～ディスプレイ間をHDMIケーブルで接続してください。

⚠ 注意

以下に注意してください。

項目	条件
共通	・ACアダプタ、ACコードは、同梱品をご使用いただき、それ以外を使用しないでください。 各ケーブルは、無理な力が加わらないように、たわみを持たせて配線してください。 ・物を載せたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしないでください。
DCプラグ	抜け防止(ロック式)機構となっておりますので、確実にロックしてください。
ACアダプタ	先にDCプラグをBoXに接続してから、ACプラグをコンセントに差し込んでください。
ACコード (ACプラグ)	・ACプラグの刃、及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてからコンセントに差し込んでください。 ・ACコードのACプラグをコンセントに差し込んだまま、DCプラグを抜かないでください。 ・コンセントに確実に差し込んでください。 ・ACプラグを抜き差しする場合は、 5秒以上 の間隔を空けてください。

外部アンテナ	・両面テープ、磁石等でしっかり固定してください。 ・配線に際し、許容以下で折り曲げないようにご注意ください。(FMSP800W-H2.5M-WPMMOの場合、曲げ半径15mm以下)
外部アンテナ延長ケーブル	・配線に際し、許容以下に折り曲げないようにご注意ください。(5D-HFAの場合、曲げ半径31mm以下) ・ケーブルの上に物を載せないでください。

③ LTE電波確認

BoXの利用には、NTTドコモLTE回線(LTE回線)が必要です。LTE回線の電波レベルを確認してください。

電波レベルの確認は、BoXの起動後、前面LEDの"ANT"により確認できます。BoX起動方法は、②配線、各ケーブル接続において、BoXは、ACアダプタ、ACコードをコンセントに接続し通電することで自動起動します。
"ANT"状況は、5. Alertmarker BoX 各部の名称と機能 [LED点灯状況]を参照してください。

"ANT"が"緑"になっていれば"電波レベル3"であり良好です。
"ANT"が"オレンジ"の場合は、状況により正常に通信できないことがあります。BoX設置場所の変更を推奨します。
外部アンテナタイプ(JCL-10AMA/JCL-10AMA-2)の場合は、外部アンテナの設置位置、向きを変更し改善できないか調整してください。
"ANT"が"赤"の場合は、正常に通信できませんのでBoX設置場所の変更や外部アンテナタイプの場合は、外部アンテナ設置位置、向きを変更してください。詳細は、"(2)設置環境"を参照してください。

それでも改善されない場合は、お客様の建物内のエリア改善を通信キャリアに要望することで改善できることがあります。

・NTT docomo 屋内の電波改善装置のご案内

https://www.nttdocomo.co.jp/area/radio_solution/

(4) 動作確認

・7取扱説明書に記載のURLにアクセスし、BoXの取扱説明書をダウンロードし動作確認してください。

⚠ 注意

以下に注意して下さい。

・電波の特性上、BoXのANT表示が緑(電波レベル3以上)で移動せずに使用している場合でも、通信ができないことがあります。
BoXは、お使いになる環境によっては、ノイズの影響をうけ無線特性が劣化することがあります。
・以下の場合、BoXのANTが正常に動作しないことがあります。
起動後(もしくは再起動後)
圏外または電波の弱いところで、起動や再起動をした場合

BoXのANT表示が"緑"かつ起動(もしくは再起動)からしばらく経過した状態において正常に動作しない場合は、お買い求め先にご依頼ください。

7. 取扱説明書

取扱説明書につきましては、Alertmarker + Cloud サービス にログインすることでダウンロードが可能です。

(1) ログイン方法

① Webブラウザのアドレス入力欄に <https://www.alertmarker.jp/> を入力します。

Alertmarker + Cloud サービスのQRコードはこちら



② ログイン画面が表示されましたら、ログイン情報を入力します。

③ 入力しましたら、[Login]をクリックします。

ログイン情報は、お買い求め先より配布されます。

※ Webブラウザは、Chrome をお使いください。

※ Internet Explorerは非対応です。

※ それ以外のWebブラウザにつきましては、動作保証しておりません。

④ メインメニュー  → [取扱説明書] よりダウンロードします。

(2) ログアウト方法

① メインメニューの  をクリックします。

② ポップアップ画面が表示されますので[OK]ボタンをクリックし、ログアウトします。

8. 仕様

(製品の仕様は予告なく変更することがあります。)

Alertmarker BoX 仕様

項目	仕様
CPU	Intel Atom Core CPU
メモリ	2GB
ストレージ	16GB
外部I/O インタフェース	1 × Audio jack (LINE OUT) 1 × Ethernet 1 × 4bit デジタル I/O 1 × HDMI IN、1 × HDMI OUT 以下はメンテナンス用 2 × USB 2.0 1 × Displayport 1 × COM (DB-9コネクタ)
LAN	1 × 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
LTEモジュール	1 × LTE通信モジュール(UM04-KO)
UIMスロット	1 × microSIMスロット
対応UIM	NTTドコモUIMカード
SDカードスロット	1 × microSDスロット
セキュリティロック	1 × セキュリティロック(ケンジントロック)取付穴
外形寸法	204(W) × 142(D) × 30(H) [mm] 突起物除く
重量	約552g
電源入力	DC12V ±5%
動作温度範囲	0℃～40℃
動作湿度範囲	20%～90%(結露しないこと)
適合規格	VCCI Class B

ACアダプタ 仕様

項目	仕様
入力電圧	AC100V ±10%
出力電圧	DC12V ±5%
動作温度範囲	0℃～40℃

9. 技術基準適合認定等

(1) 端末機器の技術基準適合認定等

BoXには、電気通信事業法第56 条第2 項の規定に基づく端末機器の設計について認定を受けた以下の設備が組み込まれております。

・ 機器名称：UM04-KO、認証番号：D15-0201001

(2) 特定無線設備の技術基準適合証明等

BoXには、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則 第2 条第1 項第11 号の3、7 および19 に規定される以下の設備が組み込まれております。

・ 機器名称：UM04-KO、工事設計認証番号：001-A06417

(3) VCCI(電波障害自主規制)

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

・本製品は付属ACアダプタ及び、フェライトコア付HDMIケーブル(※1)を使用した状態で、VCCI基準に適合しています。

※1 推奨HDMIケーブル

・サンサプライ(株):KM-HD20-○○FC ※○○はケーブル長

・接続コネクタの使用につきましては、シールド付ケーブルを使用し、フェライトコア(※2)を接続コネクタ近くに1周廻した状態で使用することで、VCCI基準に適合しています。

※2 推奨フェライトコア

・北川工業(株):GRFC-13 または GRFC-□□ ※□□はケーブル径(1周廻しますので、使用するケーブル径の2倍の値を選んでください)

10. 製品に関するアフターサービス

・無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

・修理サービスや保守・点検についてのご相談は、お買い求め先にご依頼ください。

・修理を依頼されるときは、保証期間中は、お買い求め先にお申し付けください。以下の保証規定の内容により無償で修理いたします。保証期間を過ぎているときは、お買い求め先にご相談ください。修理が可能である場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

・アフターサービスについてご不明の点や、修理サービスや保守・点検についてのご相談は、お買い求め先にご依頼ください。

【保証規定】
・保証期間内(お買い上げ日より1年間)に取扱説明書等に従った正常な使用状態で故障した場合には無償で修理いたします。
・保証期間内でも次の場合には有償修理になります。 －使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。 －お買い上げ後の輸送、落下、外部からの圧力等による故障および損傷。 －火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、公害、塩害や指定外の使用電圧による故障および損傷。

11. 廃棄について

・BoXを廃棄する場合は、お買い求め先にご連絡ください。

・BoXに同梱の[UIMカード]は、本サービスのご利用にあたりお客様にお貸し出するものです。無断での破棄はお控えください。

12. 商標について

・[エリアメール]は、(株)NTTドコモの登録商標です。

・[Chrome]は、Google Inc. の商標または登録商標です。

・[Internet Explorer]は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・[Intel Atom]は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の登録商標です。

・[QRコード]は、㈱デンソーウェーブの登録商標です。

・その他 記載されている会社名及び商品名は、それぞれ社の商標及び登録商標です。

Alertmarker BoX 簡易取扱説明書

第 3.2 版 2020 年 10 月
編集・発行 日本無線株式会社
〒164-8570
東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
※所在地については、変更になることがあります。

本書の内容の一部、または全部を無断で複製、転載することは固くお断りいたします。
本書の内容について、予告なしに変更することがあります。
本書の内容は十分注意して作成いたしておりますが、不透明・お気づきの点がございましたらお買い求めの販売店へご連絡ください。